

## 第8回 日本水中スポーツ学会開催のお知らせ

### 日本水中スポーツ学会

本会は水中スポーツであるフィンスイミング、水中ホッケーなど器具等を使用して水中で行われるスポーツを対象に、初心者、幼児および学童等の指導法、アスリートの育成指導法、トレーニング方法、また 使用器具の改良・開発等の技術的な問題、経験事例、障害事例、国際大会報告、話題提供などを通して、水中で行うスポーツの情報交換をおこない、知識を共有し、日本に水中スポーツを普及する学会です。

多数の講演および聴講をお待ちしております。本会に入会希望者はメールで申し込み下さい。1月上旬日本水チューズスポーツ連盟ホームページで告示

#### —記—

\* 日時 : 平成29年3月25日(土曜日) 受付 12:30 開始 13:00

\* 会場 : 日本体育大学 横浜 健志台校舎 本間記念館 1031 教室

\* 講演申込み : 平成29年1月31日(火)まで

講演申し込み者は 氏名、連絡先、勤務先または大学名、連絡先電話、メール、講演題目、発表者、連名者、英文タイトルを明記し、講演申し込み先にメールで申し込み下さい。

\* 講演申込み先 : 田村 宏 宛て htamura@h01.itscom.net

\* 原稿締め切り : 平成29年3月10日(金) 期日厳守

執筆要綱を参照 : 氏名、住所、勤務先、所属クラブ、連絡先電話、メールアドレスを明記

\* 聴講参加費用 : 一般 1000 円、学生 500 円

\* 懇親会 : 実費 懇親会出席希望者はメールで申し込み下さい。

\* 幹事会幹事 :

菊池かおり	OrangeFSC@aol.com	小泉和史	koirac@yahoo.co.jp
下永田修二	shimo@faculty.chiba-u.jp	田村 宏	htamura@h01.itscom.net
平尾正則	tea-farmer@vc.tnc.ne.jp	大下 茂	monofinswim@gmail.com
湯浅安理	ariel-aries-ally@axel.ocn.ne.jp		

# 日本水中スポーツ学会規定

- 第1条 本会は日本水中スポーツ連盟定款第42条にもとづき、技術検討委員会内に日本水中スポーツ学会を設置する
- 第2条 本会は水を利用する、スポーツの普及と関連分野の学術および技術の向上と発展に寄与することを目的とする
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の活動を行う
1. 水中で行われるスポーツにたいする知識の普及と活動
  2. 水中で行われるスポーツの科学的、技術的な基礎研究
  3. 水中で行われるスポーツの研究会、講演会、シンポジウム、報告、見学会の開催および研究報告書の発行
- 第4条 本会の目的に賛同する者は、技術検討委員会の承認により本会会員になることができる。
- 第5条 本会には次の機関を置く。
1. 幹事会：第3条の目的を達成するための諸行事の立案および運営
  2. 事務局：幹事会に設置
- 第6条 幹事会委員は、本会会員に技術検討委員会が委嘱する  
幹事会委員の任期は3年とする 重任は妨げない  
幹事会委員長は幹事会の委員から互選する
- 第7条 本会の活動に関する費用は、寄付、および会の活動によりそのつど徴収する
- 第8条 本会会則改定は幹事会で行う
- 付則：この会則は2009年12月13日から施行する  
2010年12月19日：名称変更および会則一部改定  
2012年3月24日：役員任期制定

## 水中スポーツ研究会原稿執筆要綱

\*講演原稿は必ず期日までに提出すること

そのまま印刷するので形式を遵守すること

締切りを過ぎた場合は受け付けない

1. A4用紙の上25mm, 下30mm, 左右20mmの間隔を空けること

用紙は A4 用紙2枚以内にまとめること(44行46文字)(表、写真含む)

2. フォント : 和文タイトルおよび節はゴシック 英文 Times を使用

本文内容は11ポイント明朝

2. 句点はピリオド(.) 読点はカンマ(,)を用いる

3. 図表の場合 キャプションは表の場合は上部に, 図の場合は下部に記す図中の文字は8ポイントとする

5. 数式の字体は Times を使用 数式には右側に番号をつける

6. 文献番号は右側カッコ付きの上付き文字とする

7. 参考文献 英語:著者名, タイトル, 誌名, 巻, 号, ページ(発行年西暦),

和文:著者名, タイトル, 誌名, 巻, 号, ページ(発行年西暦),

### 内容

1行目 : タイトル 14ポイント 太字

3行目 : 所属、氏名(12ポイント) 中央揃い **連名の場合発表者の氏名前に○をつける**

6行目 : 概要 (200文字以内) 11ポイント

概要終了の後の行に Key words 3~5 10ポイント

1行空けて次の行から本文を書き始めること

本文 : 節 : ゴシック 11ポイント

例1. 緒言、方法、結果、考察、結論、参考文献

例2. 目的、実験方法、考察及び結果、結言、参考文献

例3. 始めに、事例、考察および結果、結言、参考文献 等

# フィンスイミングの.....に関する研究

## Investigation of Finswimming .....

○田村 宏（日本水中スポーツ連盟）

本研究の目的は、一枚の板であるモノフィンを足に取り付け、スピードを競うフィンスイミングの競技に及ぼす.....(明朝 11ポイント 200文字以内に)

**Key words** : Monofin, Finswimming, FRP, Training, Coach etc (5語, Times 11ポイント)

### 1. 緒言または目的 (ゴシック 11ポイント)

本研究の目的は、..... (明朝 11ポイント)

### 2. 方法または実験方法

この研究は次の方法を用いて行った。その方法は、まず始めに

### 3. 結果および考察 または結果, 考察, 結論に分けてもよい。

この研究の結果を表1と図2に示す。表1には被験者の年齢と競技歴を示す。これによると年齢に関わりなく.....

次にフィンスイミングの競技歴を年齢ごとにまとめると図1に示すようになる。この図を見ると、特に.....

### 4. 結言

この研究を行った結果以下のことがわかった。

1. 競技歴はフィンスイミングの記録に関係することがわかり、コーチのトレーニング.....の.....

### 参考文献 和文明朝 11ポイント 英文 Times 11ポイント

- 1) 田村宏, 中澤洋二, 浅見克敏, 野村武男. 日本機械学会, スポーツ工学シンポジウム 1990, 900-66, 78 (1990).
- 2) Hiroshi T., Youzi N., Takeo N., Motion analysis and shape evaluation of a swimming monofin. The engineering sports 4. Blackwell Publishing, 716-724, (2002).
- 3) J. Lighthill, J., Mathematical Biofluidynamics, SIAM, Philadelphia, (1975)